ホクロ、シミに対するレーザー治療

レーザー治療とは

レーザー治療とは、機械により増幅された光エネルギーを生体内に伝達させ、特定の物質に光熱作用を及ぼすことにより、標的とする物質を選択的に破壊するという治療です。これにより、従来はメスによる切除のみでしか治療できなかった皮膚のできもの（ホクロやシミなど）を、切らずに治療することが出来ます。

レーザー装置により発する光エネルギーの波長は装置ごとに決まっており、また標的となる物質により作用（吸収）しやすい波長も決まっています。つまり、治療対象となる疾患により使用されるレーザーの種類が決まっているのです。

当科では炭酸ガスレーザーとQスイッチ・ルビーレーザーの２ 種類のレーザー装置を完備しており、疾患に応じてレーザー機器を選択して使用しています。

また、疾患によっては切除をお勧めすることもあり、レーザー治療の対象となる疾患においても、保険適応となるものと適応外となるものがあります。

炭酸ガスレーザー

ホクロやイボなどの皮膚表面の病変には水への吸収率が高い炭酸ガスレーザーが適しています。

Qスイッチ・ルビーレーザー

シミや怪我の後の色素沈着など皮膚深部の病変にはメラニンへの吸収率が高いQスイッチ・ルビーレーザーが適しています

市立貝塚病院　形成外科